第５学年　国語科学習指導案

日　時　　平成２１年１１月１２日（木）

時　間	４校時	５校時
学　級	５年Ｂ組（場所：教室）	５年Ａ組（場所:教室）
児　童	男子10名　女子１２名 計　２２名	男子 ９名　女子12名 計　２１名
指導者	教諭　田村　広美	教諭　松島　敦彦

育てたい主となる能力（基礎・基本）

必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。　　　（読むこと　オ）

１　単元名　　目的に応じた伝え方を考えよう

教材名　　「ニュース番組作りの現場から」「工夫して発信しよう」（光村図書　５年下　大地）
「映像を見る目」（光村ライブラリー）

２　児童観

児童はこれまでに、第３学年の「ありの行列」や第４学年の『「かむ」ことの力』、「アップとルーズで伝える」の学習の中で、形式段落の要点をまとめたり、文章の構成を考えたりする学習をしてきている。第５学年では、「サクラソウとトラマルハナバチ」の学習を通して、文章構成を考えながら要点をまとめることや、筆者の考えが述べられている最終段落をもとに要旨をとらえる学習をしてきた。

これらの学習によって、段落の中心文をもとに要点をまとめたり、文章構成や文末表現に着目して要旨をとらえたりすることができるようになってきている。しかし、長い段落の中心文をとらえることや段落と段落のつながりを考えること、筆者の考えに対して自分の考えをもつことを苦手としている児童もいる。

３　教材観

教科書教材「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組の特集の作り方についてまとめた文章である。時間に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り方等が分かりやすく整理されている。その点で本教材は、ニュース番組の作り方に関する情報提供としてだけでなく、時系列にそって大事な事柄に注意して読み取る文章としても適している。また、制作過程における具体例と要旨とのつながりを考えることで、伝えたいことを分かりやすく伝えるための文章構成にも気づくことができる教材である。

定着教材「映像を見る目」は、まとめの段落と具体例の関係が分かりやすく、まとめの段落と具体例を関連づけながら要旨を読み取る学習に適していると考えた。

４　指導にあたって

本単元では、自分たちが発信する活動を行ううえでの参考になることを意識させながら、ニュース番組の特集が作られるまでの過程を時系列に沿ってしっかりと読み取らせていきたい。さらに、要旨と制作過程の中での具体例や大切なポイントを照らし合わせることで、筆者が伝えようとしていることが分かりやすく表現されている文章構成にも気づかせたい。また、自分が発信者となるときの文章構成の一つの参考にさせたい。

定着教材では、要旨と事例を照らし合わせることで、伝えたいことを有効的に伝えるために取り上げた具体例の内容や配列の工夫について気づかせたい。そのために、教科書教材で学んだ尾括式説明文の文章構成に着目し、まとめの段落を手がかりとしながら具体例を読み取ることで、まとめの段落の文章構成や要旨のとらえ方を学ばせたい。

「工夫して発信しよう」では、教科書教材や定着教材で学んだことをもとに、総合的な学習の時間で調べた環境問題について、受け手にとって意味のある話題をどう取り上げるか、どういう情報が必要か、伝えたいことの中心が分かるようにするにはどう編集したらよいか等を考えることを通して、目的に応じた情報の配列・編集等についての理解を深めさせたい。

5　単元の系統

「サクラソウとトラマルハナバチ」
　②文章構成を考えながら、筆者の考えをとらえる。
　④筆者の考えを正しく読み取り、それに対する自分の考えをもつ。

↓

『「便利」ということ』
　②文章構成を考えながら、筆者の考えをとらえる。
　④筆者の考えを正しく読み取り、それに対する自分の考えをもつ。

↓

「ニュース番組作りの現場から」
　①事実と筆者の意見や感想を区別しながら読む。
　②文章構成を考えながら、筆者の考えをとらえる。
　③文章の要旨をとらえ、要約する。

↓

「映像を見る目」
　③文章の要旨をとらえ、要約する。

6　単元の指導目標

書く力	読む力	言語の力
◎自分が伝えたいこと、相手が知りたいことなどを考えて発信する。 ◎編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理する。 ◎集めた材料を、目的に合わせて整理し、加工して伝える。 ○伝えたい内容を表現するのにふさわしい方法を考える。	◎自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序に従って段落ごとに読み取る。 ○番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読み取る。	◎文や文章にはいろいろな構成があることについて理解する。

7　単元の指導計画と評価規準（全１４時間　本時　Ｂ組　６／１４時　　Ａ組　７／１４時）

次	時	主な学習活動	評価規準
1	1	・テレビのニュース番組を見て、感想を発表し合う。 ・総合で調べた情報を発信していくための参考にし、自分たちも発信者となるという目的意識をもつ。	（関）ニュース番組を見て、初めて知ったことを発表したり、自分たちも情報の発信者になるという目的意識をもったりする。 （発言・観察・ノート）

2	2	・教材文を読み、感想をもつ。 ・学習計画を立てる。	(関) 説明文を興味をもって読み、初めて知ったことを進んで発表し、これからの学習の見通しをもとうとしている。 (発言・観察・ノート)
	3 ・ 4	・防災訓練の特集の作り方をまとめる。	(読) 防災訓練の特集が作られる過程をまとめている。 (ワークシート)
	5	・ニュース番組作りの過程をまとめる。	(読・言) ニュース番組作りの過程と大事な点や気をつけることをまとめている。 (ワークシート)
	6 B組 本時	・⑫段落を読み、要旨をとらえる。	(読) 要旨を的確にまとめている。 (ノート)
	7 A組 本時	・定着教材『映像を見る目』を読み、要旨をとらえる。	(読) 要旨を的確にまとめている。 (ノート)
3	8	・新聞の紙面構成や読み手を引き付ける文章の構成を考える。	(書) 新聞の紙面構成や読み手を引き付ける文章の構成を考えている。 (発言・ノート)
	9	・二つの新聞記事、二つのニュース番組を比較し、報道スタッフが伝えようと思っていることを読み取る。	(読) 二つの新聞記事、二つのニュース番組を比較し、報道スタッフが伝えようと思っていることを読み取っている。 (発言・観察)
	10	・取材してきたことを整理する。	(書) 伝えたいことを明確にし、取材してきたことを整理している。 (ワークシート)
	11	・伝えたいことを明確にし、編集する。	(書) 伝えたいことが明確になるように、編集している。 (ワークシート)
	12 ・ 13	・新聞記事、または放送用原稿を書く。 ・推敲、または録音する。	(書) 構成を考えながら新聞記事や放送用原稿を書いている。 (ワークシート) (書) 伝えたいことが明確になるように推敲や録音をしている。 (ワークシート)
	14	・できあがった新聞、放送を見合い、感想を交流する。	(話・聞) 情報の発信と受信について考えを深めている。(発言・観察)

８　本時の指導計画（B組　６／１４時）

（１）本時の目標

「まとめ」の段落と「中」の部分の関係をもとに、要旨をとらえることができる。

（２）本時の具体の評価規準

A	B	Cの児童への支援
報道スタッフの思いが表れている語句を本文の内容と関連づけながら要旨をとらえることができる。	報道スタッフの思いが表れている語句を入れて、要旨をとらえることができる。	最後の一文をもとにし、指示語にあたる言葉は何か、番組を作っている人はだれかを考えさせる。

（３）本時の展開

過程	学習活動	○主発問・予想される児童の反応	指導上の留意点
見通す ８分	１　前時の学習を想起する。	○前の時間は何の学習をしましたか。 ・番組を作る過程 ・過程の中で大切なこと	・番組を作る過程を確認する。
	２　本時の学習課題を確認する。 「ニュース番組作りの現場から」の要旨をとらえよう。		
	３　学習の見通しをもつ。	○要旨は何ですか。 ・筆者の一番伝えたいこと ○どの段落に着目したいですか。 ・⑫段落 ・まとめの段落だから	・⑫段落に着目していくことを確認する。
深める ３０分	４　⑫段落を読み、段落の構成を読み取る。	○⑫段落を音読しましょう。 ○⑫段落に書かれている内容は、制作過程のどの部分に対応しているかを調べましょう。 ・話題選び ・取材 ・さつえいとインタビュー ・編集 ・放送原稿作り	・指名読み ・対応する言葉と段落を線で結ばせる。 ・３文目までは、「中」の部分をまとめ、４文目が意見になっていることを確認する。
	５　要旨をまとめる。 報道スタッフは、取材した材料の中から、見ている人に知らせるねうちがあると思うことを選び、また、知って考えてほしいという願いをこめて、ニュース番組を作っている。	○要旨をまとめましょう。	・最後の一文には主語がないので、主語を入れたり、指示語をちがう言葉にかえて要旨をまとめさせる。
		＜評価＞ 報道スタッフの思いが表れている言葉を使って要旨をまとめている。 （ノート）	

		○ねうちがあるものを選ぶとはどういうことですか ・疑問の答えが分かるように編集すること。 ○願いをこめるとはどういうことですか。 ・最も伝えたいことを放送原稿にまとめること。	・報道スタッフの思いを確認する。
まとめる7分	6　本時の学習のまとめをする。 7　次時の学習について確かめる。	○要旨のまとめ方について確かめましょう。 ・まとめの段落の文章構成を考える。 ・文末表現に着目する。 ・指示語をべつの言葉におきかえる。 ○今日の学習の振り返りを書きましょう。 ・要旨のまとめ方がわかった。 ・まとめの段落の構成がわかった。 ○他の教材文でも、今日のまとめを使って要旨をまとめることができるかどうかを学習します。	・読みの方法について確認する。 ・まとめの段落を読み取ることで、文章全体の構成が見えてくることをおさえさせたい。

（４）板書計画

ニュース番組作りの現場から

課題

「ニュース番組作りの現場から」の要旨をとらえよう。

要旨・・・筆者の一番いいたいこと

話題選び

取材

さつえいとインタビュー

編集

放送原稿を書く

⑫段落紙板書

要旨

報道スタッフは、取材した材料の中から、見ている人に知らせるねうちがあると思うことを選び、また、知って考えてほしいという願いをこめて、ニュース番組を作っている。

要旨のまとめかた

・まとめの段落の文章構成をみる。

・文末表現に着目する。

・指示語を別の言葉におきかえる。

９　本時の指導計画（Ａ組　７／１４時）

（１）本時の目標

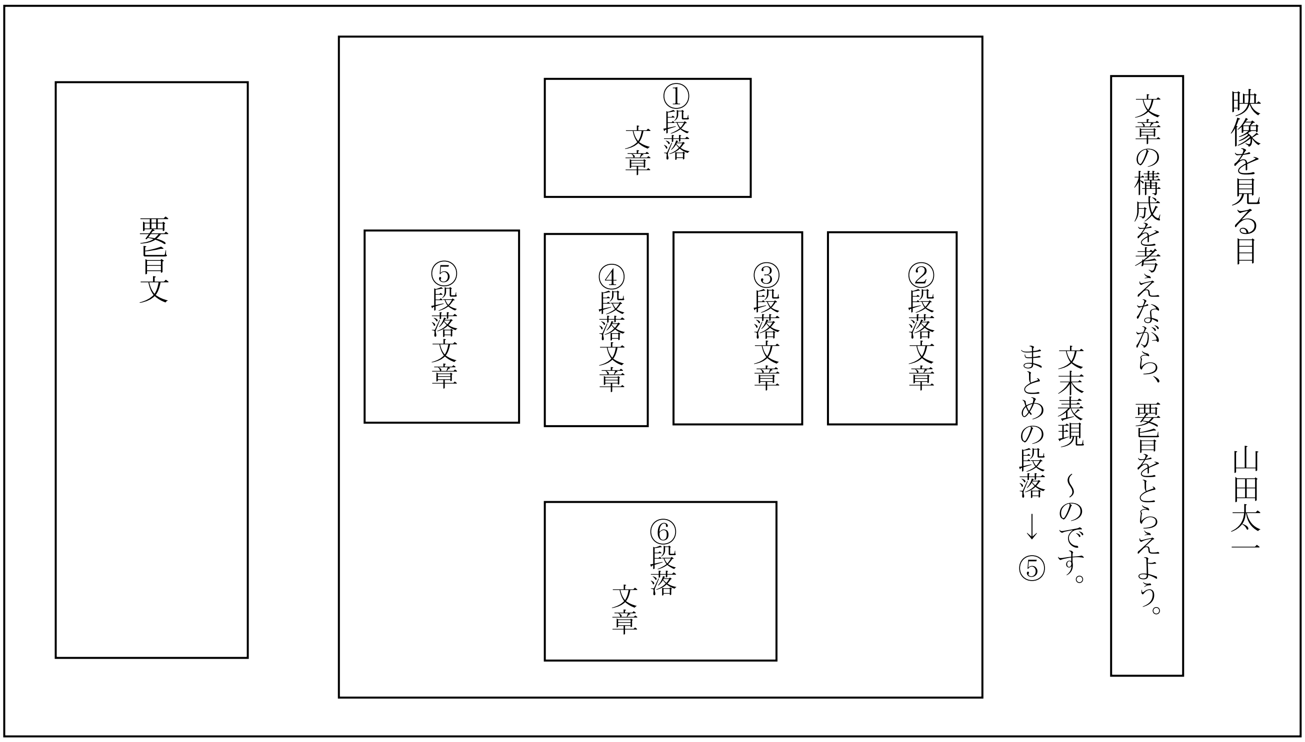
文章全体の構成（伝え方）を考えながら、要旨をとらえることができる。

（２）本時の具体の評価規準

A	B	Cの児童への支援
最終段落と前の段落の内容とを関連付けながら、要旨をとらえることができる。	中心文をつなげて、要旨をとらえることができる。	ヒントカードや空欄に書き込む形式のワークシートを用意し、文章構成や要旨をとらえられるように支援する。

（３）本時の展開

過程	学習活動	○主な発問　・予想される児童の反応	指導上の留意点
見通す １０分	１　前時までの学習を想起する。	○『ニュース番組作りの現場から』では、何を学習してきましたか。 ・特集が作られるまでの過程 ・目的に応じた伝え方 ・要旨を伝えるための文章構成	・ノートや掲示物（学習計画）をもとにこれまでの学習を振り返る。
	２　本時の学習課題をつかむ。 文章の構成を考えながら、要旨をとらえよう。		
	３　読みの方法を確かめる。	○『映像を見る目』という説明文です。要旨をとらえるために、何に着目してきましたか。 ・文末表現「～のです。」 ・まとめの段落	・教材文を配布後、形式段落に番号を書かせる。
深める ２８分	４　教師の範読を聞き、段落の構成を読み取る。 （音読する）	○要旨を考えながら聞きましょう。 （教師の範読 繰り返し２回） ○どの段落に着目したいですか。 ・⑥（文末表現「～のです。」まとめの段落） ・⑤（文末表現「～のです。」） ○⑥段落に書かれている内容（３文）が、文章全体のまとめになっているか、最終段落（⑥）を音読して確かめましょう。 ○一文ずつ、どの段落の説明をまとめた文か線で結びましょう。 ・「確かに～広げてくれました。」→① ・「しかし、～あるのです。」→②，⑤ ・「いつも注意深く～ものです。」→③	・初めて提示する文章なので、全文を教師が範読する。 ・選んだ理由も発表させる。 ・指名読　→　一斉読 ・一文ずつ対応する段落と線で結ばせる。 （教材文プリント）
	５　音読する。	○要旨を考えながら、全文を通して読んでみましょう。	・全文を各自音読させる。
	６　文章の構成を考える。	○最終段落の⑥がまとめの段落ならば、①～⑤の段落の内容は何ですか。	・既習の説明文を想起させ、具体例で取り上げているものがなかったかを考えさせる。

		・はじめ…①　（話題提示） ・中　…②③④⑤（具体例） ・終わり…⑥　（まとめ）	・「仲の良い兄弟」をキーワードに、文章の構成を考えさせる。
	7　要旨をとらえる。	○筆者の一番伝えたいことは、どの段落に書かれていますか。 ・⑥段落 ○⑤段落の文（～のです。）にも着目し、要旨を短くまとめましょう。 【要旨】 映像のすばらしさを本当に味わうことは簡単ではない。豊かな映像が事実のある一面しか見せていなかったり、正しくないものを正しいと感じさせたりすることもあるので、いつも注意深く映像を見る練習をして、本当の映像の意味を味わうことができるようにしたい。 ＜評価＞　要旨を的確にまとめている。（ノート）	・話題提示→具体例→まとめで構成されていることを確認する。 ・⑤にも筆者の主張＝要旨の一部があることを確かめる。
まとめる7分	8　本時の学習を振り返る。 9　次時の学習内容を確かめる。	○注意深く映像を見る練習をしなければならないのは誰ですか。 ・自分たち ・私たち自身 ○今度は自分たちが伝える側に立った時に、どんな構成にすれば要旨が分かりやすく伝わるかについて学習していきます。	・ＴＶコマーシャルや美しい雪の村の写真の例からも考えさせる。 ・まとめの段落の一文一文が、段落ごとの説明につながる＝まとめていることを押さえる。

（４）板書計画